

明日をデザイン。

宮城のものづくりの

NEXT GENERATIONS LAB.

企業が抱える課題やニーズを 的確に捉え、包括的な支援で ものづくり産業の未来を創る。

宮城県のものづくり産業が持続的に発展するためには、若者の力が不可欠です。同時に、高校生が安心してものづくりの世界に飛び込める環境づくりも重要です。これを後押しするために、専門家による企業診断や助言、課題に応じた人材育成プランの提案など、一貫したサポートを通じて県内企業の人材育成や産業振興を支えるプロフェッショナルたちがいます。今回は、その一つである「公益財団法人みやぎ産業振興機構」に迫りました。



※商談会の様子

魅力ある製品の販路を拡大 首都圏でマッチング支援

県内の企業は、技術や原料、製法にこだわった魅力ある製品を数多く生み出しています。みやぎ産業振興機構の支援の一つに、食品から工業製品まで、製造業を中心とした幅広い商品の販路拡大支援があります。例えば、市場調査を実施しながら、企業ごとの課題や強みに合わせた支援を展開し、製品の売上向上につなげるため、首都圏のスーパーや企業とのマッチング、商談機会の提供などを推進しています。また、生産現場改善や企業力向上につながる支援を展開しており、課題解決に向け、常にさまざまな関係機関と連携しながら、宮城県の企業を元気にするための産業振興に取り組んでいます。



産業経営支援部 取引支援課 兼 生産改善支援室 横山 雄大(よこやま ゆうだい)さん



※画像はイメージです

商品づくりの考え方を整理 自ら考える経験が自信に

食品などを製造する企業から、パッケージデザインをリニューアルしたいというご相談を受け、デザインに関するアドバイスができる専門家を派遣しました。単に新しくするのではなく、「リニューアルによって消費者に何を伝えたいのか」といった考え方の整理からはじめ、自分たちで考えながら形にしていくことで、主体的にデザインへ関わる姿勢が変化していきました。企業からは、「自分たちで考える経験を得たことで、自信を持って商品を提案できるようになった」といった声をいただきました。このように、中小企業等にとって自社だけでは解決が難しい部分をサポートしています。



産業育成支援部 事業支援課 青砥 瑞季(あおと みずき)さん



※画像はイメージです

若手のアイデアが形になる 地元のものづくりに注目

自分の住んでいる地域で、どのようなものが作られているのかを少し意識してみるだけでも、新しい発見や興味につながると思います。宮城県内には、他社や大学と協力して新製品を開発したり、次世代の自動車部品づくりに挑戦したりと、新分野へ果敢に挑む魅力的なものづくり企業が多く存在します。まずは就職イベントなどで実際に話を聞いてみることで、さまざまな気づきが得られるはずです。また、中小企業等では新商品の開発などに若手社員が関わる機会も多く、自分の意見やアイデアが反映されやすい環境があります。一人ひとりの挑戦が形になりやすい点も、ものづくり企業で働くやりがいではないかと思っています。

PROFILE

公益財団法人みやぎ産業振興機構

宮城県内の産業活性化のため、中小企業等の人材育成や販路開拓など多岐にわたる事業を展開している総合的産業支援機関。人と人を結び企業と企業をつなぎ、創業・経営革新の促進、次代をリードする産業群の創出に取り組んでいます。

【住所】 仙台市青葉区上杉1-14-2

【WEB】 <https://www.joho-miyagi.or.jp>

